



Gunma Association of Occupational Therapists

一般社団法人

群馬県作業療法士会ニュース

「からっ風通信」

第147号 2022年1月発行

巻 頭 言

ニュースについてのお願い

広報部 ニュース編集グループ グループ長 反町 拓海

新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルスによる騒動も収束の雰囲気を見せつつあり、今年こそはと平穏な一年を祈るばかりです。本年も広報部ならびにニュースの方をよろしくお願い致します。

私がニュース編集部のグループ長を務めるようになり、はや5年が経とうとしております。毎号たくさんの先生方にご協力頂き、改めて感謝申し上げます。ニュースについてはこれまで作り上げて来られた先生方の伝統を守りつつ、新しいものや会員の皆さまが「読みたい!」と思う内容に改変しなければならない点との葛藤が多く、校正・編集のたびに考えています。会員の皆さまにはどのように映っているでしょうか? 基本的にはグループ員のみで行なっている作業であり、発行後はなかなかフィードバックを得ることができないので、ぜひ皆さまからのご意見やご指摘、掲載依頼を頂けるとありがたいと思います。

さて、今年度も今号で最後となり、今回は次年度4月号の発行となります。昨年末に広報部内でニュースについての会議をさせて頂き、その中で上がった内容を中心として来年度より新たな取り組みも少しずつスタートさせていく予定です。その中には取材形式をとっていくものや、各部の先生方に広報担当として今まで以上のご協力をお願いするものまで多岐に渡って案として挙がっていますが、共通して言えるのは私たち広報部だけでなく、会員の皆さまにも積極的にご協力頂き、どんどんと会員同士を「つないでいく」ものにしていかなければならないと感じています。ペーパーレス化が進む中で紙媒体としてより良いものを作り、ご高名な先生から中堅クラスの先生、新しく群馬県作業療法士会員となる先生、そして他機関の方にも「いいね!」が頂けるものを作るには、今まで以上につなぐ力が必要になってきます。ぜひ一層のご理解とご協力を重ねてお願い致します。堅苦しくなり過ぎず、かといって倫理的に問題ない範囲での内容を展開していければと思います。

…どんな内容になるか、詳細は未定ですが、もし皆さまの下へ執筆依頼・協力依頼がありましたら無視せずに対応して頂けると幸いです。特に巻頭言、困っています…。

一つ宣伝として…。ニュースでは別の手続きが必要にはなりますが、求人広告も掲載可能です。現在は県士会員だけではなく学生会員や養成校にも配布していますので利用して頂けるとリクルートの一助になるかもしれません。また、一部他機関へも配布させて頂いており、新しく事業展開された方は宣伝にもなるかもしれませんので、そういった場合には逆オファーもお待ちしております。

そして! 広報部員募集中です!! 幽霊部員の方も増えていますので、この機会にぜひ!!

特集記事!!

「高次脳機能障害支援拠点機関では どのような支援がおこなわれているのか」

前橋赤十字病院

群馬県高次脳機能障害支援コーディネーター 碓井 祐太郎

(社会福祉士・精神保健福祉士・救急認定ソーシャルワーカー)

はじめに本誌への寄稿のお話をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。高次脳機能障害支援にかかわる数多くの専門職の中でも作業療法士の皆さまは急性期から回復期、維持期そして社会復帰期と全ての時期で支援に携わる重要な職種と認識しております。お読みいただいている方に高次脳機能障害支援拠点機関について少しでも知っていただき、当機関をうまく活用していただいたり、支援の協働につながれば、と思っています。

高次脳機能障害支援拠点機関は平成22年より県から前橋赤十字病院に委託されております。支援拠点機関として担う部分は相談支援のみで、当事者・ご家族の相談を受けて、地域の医療・保健・福祉・司法・教育・就労領域の専門家とネットワークを構築し地域で支える環境を作るとというのが使命です。病院内に設置されていますので、必要な場合には医学的診断や社会的行動障害に対する投薬や精神療法・心理療法などを提供することもございますが、皆さまもご承知の通り生活支援は単一の機関で完結することはございません。病院内の対応ではなく『いかにして地域にネットワークを作るか』という視点に専門性をおき支援を提供しているのが当支援機関です。

当機関には年間延べ1,000件程の相談が寄せられます(2020年度 1,181件)。相談者の年齢層は9歳から80歳と

幅がありますが、40代の方からの相談が全体の25%を占め最多層です。相談にいらっしゃる方をさらに細かく見てみると、男女比は8:2、受傷後1年以上3年未満に相談にみえる方が全体の25%で最多層。相談開始時点での高次脳機能障害の診断有無は8:2で診断がついている状態での相談が多い状況です。相談内容別に見ますと、多いものから「就労・就学支援」、「関与の仕方」、「受診・診断」順になっております(2020年度)。これらの基礎データと私の主観ではございますが支援経験を通して群馬県の高次脳機能障害支援における課題を次にお伝えしたいと思います。

まず40代の方からの相談が多い背景は、脳卒中の発症増加年齢であること、そして現役の働き盛り世代であり、社会復帰までが視野に入ることが一つの要因であろうと推察しております。先にお示したように当機関で多い相談に「就労支援」が上がることから、働き世代の方の社会復帰に多くのニーズがあることが伺えます。また当機関へつながるまでに、発症から「1年以上3年未満」が最多層となっております。急性期・回復期を乗り切り在宅退院をした患者様が、傷病手当金の受給期間である1年半が経過する頃、(または公務員の休職上限である3年を経過する頃)経済的な側面からも復職と向かい合う必要が出て、ようやく課題が顕在化するということが少なからず発生しているように感じます。「もう少し早くから復職支援の介入があれば準備にも余裕があるのに...」と思う事例も少なくありません。医療・保健・福祉領域から次の支援機関である、就労

参加無料 全2回

zoom

交通事故被害者支援 リモートセミナー
北関東の高次脳機能障害支援

《聴講方法》オンライン聴講のみ (zoom配信)
◆申込方法および聴講の詳細は裏面をご覧ください
◆セミナー終了後、期間限定でYouTube配信いたします

プログラム

第1回、2022年1月30日(日) PM14:00~PM16:00ごろ
①講演 船山 道隆氏 (足利赤十字病院 神経精神科部長)
「高次脳機能障害 概論」
②対談 上田 育生 (交通事故被害者家族ネットワーク 理事)
星 敬太郎氏 (ホームケア土屋 関東ブロックマネージャー)
「交通事故の制度と重度訪問介護」

第2回、2022年2月27日(日) PM14:00~PM16:00ごろ
①対談 船山 道隆氏 (足利赤十字病院 神経精神科部長)
藤本 一郎氏 (だいち法律事務所 代表弁護士)
「高次脳機能障害の検査と診断書」
②シンポジウム/ケース検討
山中俊広氏 (茨城県高次脳機能障害支援コーディネーター)
金井正敏氏 (群馬県相談支援専門員協会 副会長)
関口聡氏、高橋洋輔氏 (群馬県立障害者リハビリテーションセンター)
「高次脳機能障害の支援~地域のネットワーク~」

裏面をご確認の上、QRコードからお申し込みください

◆◆主催◆◆
一般社団法人 交通事故被害者家族ネットワーク
Traffic Accident Victims' Family Network
〒103-0013
東京都中央区日本橋人形町1-13-9-1004
☎03-6661-1575
http://www.jike-kazoku.com/

・教育領域に繋いでいくかというところに群馬県内の課題があるように思います。また、女性の相談者割合が少ないことも課題の一つだと認識しております。実態調査をしたわけではございませんので、想像の域は出ませんが、本当は社会復帰したいけれど諦めてしまっているという方もいらっしゃるのではないかと危惧しています。

ここまで私の感じる課題を述べさせていただきました。これを読まれた方が意識的に就労領域との連携を視野に入れてくださったり、支援の連続性を意識していただけると幸いです。また、何度も申し上げますが、支援は一機関で完結は困難です。いかに地域に高次脳機能障害者支援を担っていただける社会資源を増やすかは重要なことだと考えています。ぜひ、高次脳機能障害における地域支援を一緒に担っていただけると幸いです。

最後になりますが、当機関は社会復帰支援のみならず、「疑う症状があるので診断してほしい」、「リハビリ先を探したい」、「年金を受給できるか相談したい」などの受診相談や日常生活支援、社会的行動障害に伴う自傷他害や触法行為への対応という危機介入が必要なものまで幅広い相談を受けています。何かございましたらご相談いただけると幸いです。

2022.1.30/2.27 交通事故被害者支援リモートセミナー 参加申込み

★お申込み・当日視聴・オンデマンド視聴とも
QRコードまたはホームページにアクセス

※お問合せは担当者へ 担当:岡村 ☎090-7714-1862
1日だけのご視聴の方もお気軽にお申込みください(キャンセル不要)



<http://www.jko-kazoku.com/0130-0227.html>

★視聴までの手順

・QRコードまたは当会ホームページから必要事項を入力して申込み(申込み最終日2022年2月24日)

・入力したメールアドレスに申込み確認メールが届きます

・セミナー開催3日前(1月27日、2月24日)にリマインダーが届きますので、手順をご確認ください

・視聴方法、質問方法、関連資料などは、本セミナー視聴用ページに掲載いたします

・講習会当日は、zoom配信によりご聴講ください

※参加時はカメラとマイク機能をOFF、ご質問の際にはマイクだけONにしてください

・万一通信環境に障害が起きた場合でも、後日収録映像をYouTubeで公開しますのでご安心ください

(収録映像はセミナーの翌日正午より公開の予定です)

・収録映像を公開するYouTubeのURLについては、視聴用ページにてご案内いたします

★各県の支援センターと家族会

◆茨城県

茨城県高次脳機能障害支援センター:茨城県稲敷郡阿見町阿見4669-2(☎029-887-2805)

高次脳機能障害者の会・いばらき:事務局 滝沢(☎080-5901-9979)

◆栃木県

障害者総合相談所 発達・高次脳機能障害支援課:栃木県宇都宮市駒生町3337-1(☎028-623-6114)

とちぎ高次脳機能障害者の会:事務局 中野(☎0285-38-6485)

◆群馬県

前橋赤十字病院「群馬県高次脳機能障害支援拠点機関」内:群馬県前橋市朝倉町389-1(027-225-52519)

NPO法人ノーサイド:事務局 下田(☎080-3419-6233)

【本セミナー開催の主旨】

当会では交通事故による高次脳機能障害について、被害者家族だけでなく医療・福祉関係者からも相談が多く寄せられます。

高次脳機能障害は多岐にわたる症状が併発し、介護を要する方から、復職や復学を目指す方まで様々です。

「大切な家族とまた家庭で暮らしたい」「リハビリをずっと続けたい」「本人も家族も大変なのにどこに相談したらいいかわからない」…高次脳機能障害と向き合う当事者・家族は拠り所をいつも探しています。

高次脳機能障害は地域において、相談支援や啓発、普及を図ることが定められており、子どもは地域で生活することが脳の回復に繋がると考えられています。本講習会が、支援のネットワークが広がる機会になることを願っています。



一般社団法人
交通事故被害者家族ネットワーク
Traffic Accident Victims' Family Network

群馬県がん作業療法研究会 オンライン勉強会のお知らせ

〈テーマ〉

- ◎太田記念病院のがん作業療法の紹介
- ◎Support Team Assessment Schedule (STAS-J)について
- ◎情報交換会

〈講師〉太田記念病院 堀越晃子

〈日時〉2022年3月4日(金)19:30~21:00

〈会場〉Zoomシステムを使用したオンライン会議

参加希望者にオンライン会議参加URLを送ります。

〈連絡先〉kenkondoot@gmail.com 近藤健(群馬パース大学)

STAS(Support Team Assessment Schedule)とは?

ホスピス・緩和ケアにおける評価尺度の1つです。主要項目として「痛みのコントロール」「症状が患者に及ぼす影響」「患者の不安」「家族の不安」「患者の病状認識」「家族の病状認識」「患者と家族のコミュニケーション」「医療専門職間のコミュニケーション」「患者・家族に対する医療専門職とのコミュニケーション」の9項目からなります。医師、看護師など医療専門職による「他者評価」という方法をとるため、患者さんに負担を与えないという利点があります。

群馬県作業療法士会 令和3年度第3回理事会議事録

日 時：2021年9月22日(水) 19:30 ～ 22:00

Zoom使用でのリモート会議

参加者：新井、関根、山口、柴田、石森、市川、李、今村、小此木、勝野、高坂、都丸、長谷川、村井、山浦、高橋 16名

I. 各部議事

1. 教育部[報告者：勝野]

【報告事項】

1) ブロック長会議 コロナウイルス流行のため、メールで随時審議を実施。
7/30、8/24にzoomにてリモート会議実施。

【検討議題】

①令和3年度 研修会予定

- ・現職者共通研修(平日にナイトセミナー形式で実施)
- ・「職業倫理」 → 講師：長谷川OTR 時期：2/16
- ・「作業療法の可能性」 → 講師：山口副会長 時期：11/11
- ・「日本と世界の作業療法の動向」 → 講師：新井会長 時期：12/15
- ・「事例報告と事例登録」 → 講師：近藤OTR 時期：10/13

・現職者選択研修(発達障害領域)

2022/1/30(日)にzoomによるオンライン開催。

・新人症例発表会 2021/9/26(日)にzoomによるオンライン開催。

発表者(事例報告受講者)：38名。聴講者(事例検討受講者)：16名。

新人症例発表会申込締切日：2021/4/21

査読希望者抄録締切日：2021/5/19

抄録締切日：2021/6/16 スライド締切日：2021/7/21

・その他

zoom対応のためにPCを新規で1台購入。

既存のPC(acer)を初期化してofficeを再インストールし、zoom対応可能となった。

研修会報告1)現職者共通研修「作業療法における協業・後輩育成」

日時：2021/7/19 19:00～20:30 講師：都丸理事 参加者：38名

2)現職者共通研修「実践のための作業療法」

日時：2021/8/20 19:00～20:30 講師：李理事 参加者：30名

【審議事項】なし。

2. 福祉用具委員会[報告者：石森]

【報告事項】なし

【審議事項】群馬県作業療法士会福祉用具委員会は以下の活動計画で活動を開始してよいか。

1) 活動目的

- ①群馬県作業療法士会員の福祉用具に関する知識向上・研鑽
- ②福祉用具に関する事業の窓口と対応
- ③群馬県民・行政・多職種団体に対しての福祉用具に関する作業療法の啓発

2) 委員構成

①委員長 柴田全利(群馬県作業療法士会 副会長)

②委員 村井達彦(群馬県作業療法士会 理事)、石森卓矢(群馬県作業療法士会 理事)

3) 活動内容

①福祉用具に関する情報収集と群馬県作業療法士会員への情報発信

日本作業療法士協会およびその他関係団体などから情報収集を行い、制度、研修、臨床に役立つ情報などの視点から必要な情報を抽出し、群馬県作業療法士会事務局を通して情報提供を行う。

②福祉用具に関する群馬県作業療法士会内外からの相談窓口の設置と対応

日本作業療法士会運営の福祉用具相談支援システムに群馬県作業療法士会を登録し、運営を行う。運営では、群馬県作業療法士会員の相談事に加え、行政およびその他関係団体からの相談についても群馬県作業療法士会員を通じて広く収集していく。

③福祉用具に関する制度対策

日本作業療法士協会福祉用具対策委員会との連携窓口として、福祉用具に関する制度設計などの案件に対応していく。

④福祉用具に関する研究、開発と研修

必要に応じて福祉用具に関する研究、開発及び、その他関係団体と連携し研修会を企画する。

4) 運営

①会議：年4回を目処に会議を開催する。その他委員長および委員の求めに応じて会議を開催する。

②計画：年度毎に活動計画を見直す。その際の予算案などに関しては、事務局

と連携して作成する。以上 → 承認

3. 学術部[報告者：李]

【報告事項】県士会における学術支援活動を行なった。

【審議事項】なし

1) 学術研究グループ

【報告事項】

①学術研究グループの勉強会を現在までに3回開催した。

【審議事項】なし

2) 学会支援グループ

【報告事項】

①第23回群馬県作業療法学会の公文書作成・事前参加申し込み登録の支援を行った。

②第24回群馬県作業療法学会の運営支援を行った。

【審議事項】なし

3) 機関誌編集グループ

【報告事項】

①2021年度機関誌、学会誌の準備中。事務局納品は10月10日前後を予定。

【審議事項】なし

4. 運転と作業療法特設委員会[報告者：李]

【報告事項】

1) 2021年10月9日に、ぐんま自動車運転リハビリテーション研究会と合同で世話人会を実施する。

【審議事項】なし

5. 広報部[報告者：都丸]

【報告事項】

1) 公益事業グループ

・コロナ禍の為イベント関係は実施できておりませんが、リーフレット完成に向けて進めております。SNS等を用い広報活動ができるよう定期的に部会を開催予定。またLINEワークスを導入し情報交換、共有がしやすい体制とし今後の活動を検討していきます。

2) ニュース編集グループ

現在10月号の作成中。様々な先生方のご協力によりなんとか発行できる段階になっています。また、会員数の増加により今月より50部増刷しての印刷とします。

・次回は年明け1月号の予定。

年末の忙しい時期とは思いますが、原稿等は12月25日頃を目途にお願いします。

3) 広報企画グループ

・先月の部会を踏まえリーフレットの改定に向けた活動を行います。

【審議事項】なし

6. 地域局[報告者：小此木]

【報告事項】

7月12日、8月12日、9月16日に地域局会議を開催した。

地域局名簿(メーリングリスト)の確認、修正を行った。

1) 北中毛ブロック

【審議事項】

①みなかみ町より地域ケア会議での講義の依頼

日時：令和3年12月13日予定。場所：ZOOM使用

内容：「コロナ禍における健康増進のワンポイントアドバイス(事業所向け)」

テーマがコロナ禍における健康増進のワンポイントアドバイスとなっている。

地域作業療法推進部に、アドバイスをいただきながら依頼を受けたい。

講師については小此木が担当予定。

2) 西毛ブロック支部 報告者 山浦

【審議事項】

①令和3年度医療介護連携フェスティバルin高崎の作業療法紹介スライド作成について精神分野の施設が決まり、身障、高齢期、地域、発達を含む全ての協力施設が決定した。サブコンテンツの体操動画は二重課題等を作業療法士会として作成していく事となった。

運営費として5000円が支給とされるが、使い方として作業療法紹介のスライド作成に協力いただいた施設にQUOカード1000円分×5施設を気持ちとして鏡文を添えてお渡する。

3) 東毛ブロック支部 報告者 今村

【報告事項】

①学会について学会誌を急ピッチで進めている。

②伊勢崎包括支援センター東主催のあずまミーティングについて

講師：石森理事 40分程度の研修会を予定。

11. 事務局

【報告事項】

- 事務局員 齋藤藍様との契約完了し9/13より業務開始している。現在0歳児を連れての勤務であるが、10月より保育園への入園が決定した。
- 現在、会員名簿作成中8/31付け927名となっている。各部署員・委員名簿について、報告の無い部署は変更なしでよい。変更なしの場合でも報告して下さい。今後委嘱状も作成・発送の予定。

【検討事項】

- 行動交通費を今年度より活動費(謝礼金)と交通費・旅費とする方向でよい。活動費¥400/1回(源泉徴収税¥45)、交通費1キロ¥10でよい。この金額でよければ規定を変更していく。
→ 試算を出し時間をかけて検討していく必要あり。
- 研修会参加費徴収システムの導入について
①各システム比較 別紙参照のこと
※どのシステムもオンライン決済を可能にする
※当日受け付けの利便性、コンビニ決済を求めるのであれば、Paypal以外の選択
②システム運用導入の利点
※会費支払いの簡便化。オンラインで完結する。
※振り込みの確認などの手間は省ける
※月額の管理費やアカウント取得での費用負担無し
→ お試しで導入してやめるのも自由。0円で開始できる。追加予算の必要なし
③システム運用導入の課題
※研修会の事前申し込みの方法についての見直しが必要
※現状の教育部で使用している Google form との連携機能は無い
※無料開催を継続する場合は、導入メリットは限定的(受け付けシステムは使用可能なものもある)
※チケット1枚の金額が低額の場合は、手数料の割合が大きい
④検討事項
システム導入については、教育部の判断を尊重したい。いかにかでしようか？

理由:研修会の受け付け業務や受講者リストの管理など教育部が担当者が直接関わる領域が多くあるため。具体的には

・会費徴収システムの導入の是非

導入する場合

・どのシステムをいつくらいから導入するか について

教育部 部長、ブロック長クラスを中心に協議いただくことは可能でしょうか？

仮に導入が決まった場合の具体的な作業(アカウント登録、申し込みフォーム作成)などは事務局と協議して決めて行ければと思います

④報告事項

HP 機能・コンテンツの拡充について→FAQ を用意する予定です。

会員管理システムの導入について→情報収集進めていきたいと存じます

研修会 会費決済システム 比較				
	pitex (ピテックス)	pass market (パスマーケット)	イベントペイ	pay pal (ペイパル)
手数料	4.9%+99円/1件	3.564% 5.9% (法人)	3.50% 3.6%+40円/1件	
年間管理費・初期費用	¥0			
決済方法	クレジットカード決済	クレジットカード決済、paypal	クレジットカード決済	クレジットカード決済
法人名義登録		○ ※		
無料イベントの利用	○	×	○	
Zoom連携 [※]	×	○	×	
申し込みフォーム作成	○			富士会フォームを利用
受付システム QRコード受付、スマホ決済	○	○		×
受講者リスト		○		
イベント告知サイトでの一般公開	○		×	
他団体使用	POTA 終末期緩和ケアOT研究会 青森県OT士会 福岡県OT士会	大分県OT士会 栃木県OT士会 埼玉県OT士会 福岡県OT士会	東京OT士会	多くのECサイト
備考	イベント決済 受付システム イベント集客に定評がある	イベント決済 受付システム イベント集客に定評がある (YAHOO! JAPAN) YAHOO! JAPAN IDの取得が必要	イベント決済 受付システム	決済機能付。報告の富士会フォームに連携するシステム イベント以外の会費等の収受でも利用可能

※法人登録は利用システムによって方法は様々。総延長で1週~10日程度かかること有り。
※受講登録済むとZoomIDなどの連絡が自動的に配信

群馬県作業療法士会 令和3年度第4回理事会議事録

日 時：2021年11月24日(水) 19:00 ~ 22:00

Zoom使用でのリモート会議

出席者：新井、関根、柴田、石森、市川、李、今村、小此木、勝野、高坂、都丸、長谷川、村井、山浦、高橋 15名

I. 各部議事

1. 教育部[報告者:勝野]

【報告事項】

- ブロック長会議 コロナウイルス流行のため、メールで随時審議を実施。10/25にzoomにてリモート会議実施。

【検討議題】①令和3年度 研修会予定

- 現職者共通研修(平日にナイトセミナー形式で実施)
「職業倫理」 → 講師:長谷川OTR 時期:2/16
「日本と世界の作業療法の動向」 → 講師:新井会長 時期:12/15
- 現職者選択研修(発達障害領域)
2022/1/30にzoomによるオンライン開催。
2) 研修会報告①現職者共通研修「事例報告と事例登録」
日時:2021/10/13 19:00 ~ 20:30 講師:近藤OTR 参加者:31名
②現職者共通研修「作業療法の可能性」
日時:2021/11/11 19:00 ~ 20:30 講師:山口副会長 参加者:36名
③新人症例発表会
日時:2021/9/26 発表者(事例報告受講者):37名 聴講者(事例検討受講者):15名

3) その他①研修会参加費徴収システムについて
事務局主導でPeatixの運用準備をしています。

教育部では1/30の現職者選択研修から仮運用を実施する予定です。
参加費のキャンセルポリシーなどについては現在部内で検討中です。

②生涯教育サイト(研修管理サイト)運用開始について
2021/11/15より上記のシステムが運用開始となります。

詳細は柴田副会長の別紙資料をご参照ください。
今年度、対面式の研修会を予定している部は教育部までご連絡ください。

③研修会の形式変更に関する報告

COVID-19により、2020年度から教育部の研修会は対面式からオンラインへ変更しています。形式変更による参加者の変化を別紙にまとめましたので、ご参照ください。

④対面式とzoom開催の研修会の比較を行った。別紙参照。

【審議事項】なし。

2. 生涯教育制度[報告者:柴田]

【報告事項】

- 11月13日に協会の生涯教育制度推進委員会があり参加した(2名:戸部、柴田)
- 10月上旬を以て生涯教育手帳の移行を締め切った
- 2021年11月15日より新システムの運用開始
→県士会主催研修会の受講申請に関してはすべて教育部生涯教育SGが行う例) 県士会で研修会を行う場合

①協会HPにあるエクセルシート【研修会受講者リスト】をダウンロード
ファイル元:協会HP⇒会員向け情報⇒生涯教育⇒制度推進について【生涯教育制度推進担当者の役割】

⇒研修履歴登録用エクセルファイル【参加履歴登録用】

②シートに必要な事項を記載【氏名、会員番号】*旧姓、協会会員番号に注意

③教育部生涯教育SGにメール等で報告

④登録責任者(生涯教育SG長、柴田)が協会に報告

【お願い】

研修会を行う部署は上記エクセルシートを協会からその都度ダウンロードして使用(再利用不可)

*将来的に本格運用になった場合

対面研修会の場合、会場でバーコードリーダーを用いて直接登録していく形になります。

したがって研修会受講時には、研修受講カードを持参してもらう様、参加者に周知してください。

対面研修の場合、当面は教育部生涯教育SGが研修会に出向く方向で調整しています。

3. 広報部[報告者:都丸]

【報告事項】

1) 公益事業グループ

①10月、11月に広報部会、理事・グループ長会議を開催。LINEワークスの導入し円滑に情報共有ができるように対応。部会内容としては、印刷業者からのリ

ーフレットのラフが届き、デザインや内容について検討。若年層への広報活動についての取り組みについて検討。次回部会にて広報活動について始動できるように進めていく方向。

2) ニュース編集グループ

- ①10月号の発行は終了し、現在年明け1月号の発行準備に入っています。
巻頭言は例年通りに新井会長へ依頼させて頂きました。
何か掲載記事等があれば、年末年始で印刷会社とのやり取りもしにくくなるため、できる限り年内にデータを頂けるとありがたいですが、1月10日頃までであれば対応は可能です。

3) 広報企画グループ

- ①リーフレット改訂作業に関して、星野印刷様に依頼中。ラフが届き、修正依頼を行う。印刷費用の振り込み時期、方法について確認中。
②11/12 OT協会広報会議(Zoom)に参加(山口副会長、都丸、土岐)。各士会の広報活動を共有、協会広報コンテンツ オーティクんの活用等アイデアを募った。会議で全国の情報を取りまとめ12月に共有される予定。

【審議事項】なし

提案:今後、紙媒体とHP・ネットのすみわけ等検討し、何らかのアクションをしていくことが大切。

4. 地域局[報告者:山浦]

【報告事項】地域局活動

11月8日に地域局ブロック長会議を開催した。

行政への挨拶回りは必要に応じて対応していく。まずは、関係のある団体(広域やPOS連絡協議会)から再考する。

1) 北中毛ブロック 報告者 小此木

①地域ケア会議での講義(みなかみ町)

日時:令和3年12月13日 1時間程度 対面での実施予定

内容:「コロナ禍における健康増進のワンポイントアドバイス(事業所向け)」
テーマがコロナ禍における健康増進のワンポイントアドバイスとなっている。
地域作業療法推進部にアドバイスをいただきながら資料作成を行っていく。

②令和4年度群馬県作業療法学会について

8月16日、10月21日に実行委員会を開催した。

2) 西毛ブロック支部 報告者 山浦

①医療介護連携フェスティバルin高崎 12月1日よりup

メインコーナーの作業療法紹介、サブコーナーのフレイル予防体操の動画を送付した。11月22日の代表者会議へ山浦が参加した。

3) 東毛ブロック支部 報告者 今村

①伊勢崎市多職種協学事例検討会あずまミーティング

実施日:10月21日(木) 実施形態:ZOOMと現地のハイブリッド開催

参加者数:48名(医師・ケアマネ・薬剤師・ヘルパー・民生委員・社協職員・PTなど)

講師:石森理事 補佐:今村理事

内容:テーマ「Withコロナ時代の健康二次被害を予防しよう」、講義後にグループワークで意見交換を実施した

次回以降の依頼もあり(尿失禁について)

②桐生市新里地域 脳いきいき教室

地域包括より相談あり。村井理事、今村理事、訪看サンホープ糸井さんで対応していく。

③第23回群馬県作業療法学会について 開催日:10月31日

実施形態:ZOOMでのWEB開催 参加者数:146名

地域局と連動して開催した。PC不具合などあったものの大きなトラブルなく、各実行委員の協力のもと無事終了した。

【審議事項】特になし

5. 学術部[報告者:李]

【報告事項】

第23回群馬県作業療法学会の運営支援を実施した。

第23回群馬県作業療法学会優秀演題賞審査に学術部長が審査員として参加した。

1) 学術研究グループ

①学術研究グループの勉強会を現在までに5回開催した。

②第23回群馬県作業療法学会の一般演題査読依頼・管理を行った。

2) 学会支援グループ

①第23回群馬県作業療法学会の運営業務(Web開催に伴うPC管理、財務管理)の支援を行った。

②第24回群馬県作業療法学会の運営支援を行った。

3) 機関誌編集グループ

①2021年度機関誌投稿論文に対する査読業務を行なった。

②2021年度機関誌・学会誌の編集業務を行なった。

③2021年度機関誌・学会誌について印刷し、発刊した(印刷は業者依頼)。事務局より県士会員および関係先へ発送した。

【審議事項】なし

6. 運転と作業療法特設委員会[報告者:李]

【報告事項】

1) 2021年12月11日に、ぐんま自動車運転リハビリテーション研究会と合同で世話人会を実施する。

2) 県内の作業療法士が所属する医療機関を対象に、自動車運転支援の現状把握を目的としたアンケート調査を実施する。

【審議事項】なし

7. 養成校連絡協議会[報告者:高坂]

【報告事項】

徐々に受講者が若年化し非会員の率が増加傾向にある

1) 10月2～3日 令和3年度第2回臨床実習指導者講習会(群馬県講習会)を実施した(受講者数46名)

2) 10月23～24日 令和3年度第3回臨床実習指導者講習会(群馬県講習会)を実施した(受講者数47名)

3) 12月4～5日 令和3年度第4回臨床実習指導者講習会(群馬県講習会)を実施予定である(受講者予定者数43名)。

4) 令和3年度第5回臨床実習指導者講習会(群馬県講習会)の募集を開始した(定員50名)。

【審議事項】なし

8. 地域作業療法推進部[報告者:高坂]

【報告事項】

1) 地域包括ケア推進グループ

①9月24日 Web会議を実施した。

②10月15日 Web会議を実施した。

③11月1日 関東・静岡ブロックミーティングが開催され山口・榊原が参加した。

④11月15日 市町村を対象に「地域支援事業の実施状況並びに作業療法士の関与に関する調査」に関するアンケートを実施予定である。

⑤11月19日 Web会議を実施した。

⑥11月20日 日本作業療法士協会主催「第2回地域支援事業への参画推進のWeb研修会」に山浦、山口(一)、笹谷で参加予定である。

⑦12月以降、高崎市の自立支援型地域ケア個別会議の見学をさせていただけるよう市と連絡調整中である。

2) 認知症支援推進グループ

①9月 世界アルツハイマー月間の広報資料を県士会HPに掲載した。

②10月2日 令和4年度群馬県地域医療介護総合確保計画要望書を群馬県介護高齢課へ提出した(877,000円、内県士会負担220,000円)。

③10月14日にWeb会議を実施した。

④11月13日 12:40～17:00 認知症ケア資質向上のための研修 第1回研修会～認知症の基礎知識と笑顔を引き出す活動を学びケアのヒントを見つけよう～をWebで開催予定。研修会に先駆け、11月10日にZOOM体験会を予定している。

⑤11月26日 岡山県作業療法士会会員と「認知症OTの会」をWeb上で実施予定。両県の士会の取り組みや県内の認知症施策の状況などについて共有をする。

3) 精神科領域推進グループ

①10月6日 群馬県障害政策課精神保健室に令和4年度自殺対策強化事業の事業計画書を提出した(192,000円、全額補助を受ける予定)。

②10月28日 日本精神科病院協会・日本精神科医学学会 学術教育研修会(作業療法士部門)がWebで開催された。

③11月1日 Web会議を実施した。

④12月17日 19時より「第2回 作業療法士のためのメンタルヘルス情報交歓会」をWebで開催予定である。

⑤令和3年度自殺対策強化事業研修会を下記要領で実施予定

日時:令和4年2月5日(土) 13:00～16:10/講師:佐藤浩司先生(群馬県心の健康センター)、大島由之先生(群馬医療福祉大学)

形態:Web(ZOOM) 人数:100名(予定)

主対象:医療職、教育関係者、一般等

4) 発達支援推進グループ 報告者 勝野

①9月の理事会において電子マネーの利用について承認をいただいたため、今年度の活動費などの名簿作成を開始した。会計に連絡し、年度末までの物を含めて作成管理を行っていく。

②10月12日 保育士等研修会参加者・スタッフ用アンケート完成

③10月16日 保育士等研修会のOTスタッフの打ち合わせをオンラインで開催した。

④10月30日 発達G公式Instagram投稿更新(6月より毎月1回～2回で7回更新した)

⑤11月3日 保育士等研修会事前Zoom体験会担当スタッフの打ち合わせをオンラインで開催した。

- ⑥11月6日、11月12日いずれも18:30～19:00 保育士研修会の事前Zoom体験会を開催した。2日間で合計11名出席し、基本的なZoom操作の練習を行った。
- ⑦11月21日14:00～16:00 第2回発達支援推進グループ研修会(保育士等研修会)「なに使う?いつから?お箸までの手の発達」をオンラインで開催予定である。現在申し込み人数は40名(同一端末参加者を含む)。ボランティアOTスタッフ19名(うち部員12名)にて対応予定となっている。講義と6つのブレイクアウトルームに分かれてのワークショップ形式で開催する。
- 【審議事項】なし

9. POS連絡協議会訪問リハ部

【報告事項】

- 1) 介護予防部
- ①シンポジウム「アフターコロナを見据えた通いの場のあり方」
日時:2022年1月21日(金) 19:00～21:00 WEB開催
司会:宮寺亮輔先生(群馬医療福祉大学)
講師:前橋市ー佐藤みゆき先生、高崎市ー目崎智恵子先生、玉村町ー齋藤道子先生、POS連絡協議会ー篠原智行先生
- ②災害支援に関する研修会
3月中旬に岡山県の事例でWEB開催の高校で準備中
- 2) 地域ケア会議部
日時:2022年2月25日(金) 19:00～21:00 WEB開催
概要:群馬県の現状と課題について、群馬県健康福祉部健康長寿社会づくり推進課からの講義と埼玉県取組として岡持利巨氏(霞ヶ関南病院)からこれからの自立支援型地域ケア会議の方向性も含めて学ぶ研修会を開催する

10. 第23回群馬県作業療法学会【報告者:今村】

【報告事項】

- 1) テーマ:持続可能な進化した作業療法
- 2) 日時:令和3年10月31日(日)
- 3) 会場:群馬大学大学院保健学研究科(完全Web形式)
- 4) 参加者(延べ人数)
- | | | | |
|-----------|-----|-----------|------|
| 県士会員 | 89名 | 非 県士会員 | 4名 |
| 講師・発表者・座長 | 33名 | 多職種・一般・学生 | 7名 |
| 他士会員 | 16名 | 合計 | 149名 |
- 5) プログラム
- ①学会長講演
作業療法の進化と継続 ～起業・副業時代のOT 実践～ 講師:村井達彦
- ②特別講演
・Pusher 現象の評価と治療 講師:藤野雄次
・精神科作業療法におけるポジティブ作業に根ざした実践の有用性 講師:野口卓也
・現実可能性を考えたConstraint-induced movement therapy(CI 療法)の応用の試みについて 講師:竹林崇
- ③教育講演
・未来を担う「こども」の自由と自立と自己管理 講師:北爪浩美
・作業療法士のための内部障害講座 ～心臓・腎臓リハの基礎と臨床～ 講師:村井達彦
・医療観察法医療と作業療法 講師:梶間由里子
- ④市民公開講座
・拡張型心筋症からの奇跡の復活 講師:八木橋健吾
・生きる為のリハビリテーション 講師:堀越啓仁
- ⑤シンポジウム
・訪問・地域リハビリテーション最前線 講師:小此木諭、勝野恵、黛俊子
・作業療法の多様性と進化 講師:都丸直樹、山口智晴、田代勇二、作間弘彬
- ⑥ジョイントシンポジウム
呼吸・循環障害に対する作業療法の診かた～臨床に活かせるTips～ 講師:岡島聡、熊野宏治、須藤誠、鈴木真弓
- ⑦一般演題(口述) 17演題
- ⑧アンケート結果より
案内等をもう少し早めにほしかった。(参加者・講師)
高名な講師など内容が充実していた。
・ 後日WEB配信など直前で検討したが、準備間に合わず断念。次回学会で検討含め引き継ぎ予定。
・ 当日運営のみ、会場集合して行いPC接続不良など、前日リハーサルでは出なかった不具合もあったものの、予備のPC 実行委員の連携で解消。
外部から参加する実行委員とのやり取りについての電話が主ではあったが、共有方法の検討(LINEなど)事前に検討が必要。

11. 第6回北関東信越ブロック学会・第24回群馬県作業療法学会【報告者:小此木】

【報告事項】

- 1) 体制 学会長:山口智晴(群馬医療福祉大学)
実行委員長:小此木諭(訪問看護ステーションまつかぜ)
事務局長:市川亮太(群馬リハビリテーション病院)
学会支援グループ:野口直人(群馬大学)
- 2) 運営に向けた検討
・ 令和3年8月16日(月)、10月12日(火)に検討会議を実施
以下の3)の事項について おおよその方向性を検討
- 3) 開催の方向性(案)
- ①日程候補:2022年11月26(土)～ 27日(日) 1.5日開催を提案する
(→ただし日本認知症学会の最終日と重複)
- ②会場:K' BIX元気21まえばし(仮)
- ③実施形態:ハイブリッド前提で感染状況に応じてWEB移行もできる準備
- ④その他:テーマや講師等は今後検討していく。県内外の臨床家が発表できる一般演題や実践的なワークショップなども充実させたい。

12. 福利厚生部【報告者:市川】

【報告事項】

- 1) 県学会の優秀演題賞
県学会の優秀演題賞の審査を11/2に実施。
- 2) 新人症例発表会の優秀演題賞
教育部より今年度は6名の受賞者と連絡あり。
優秀演題賞の受賞者6名へ11月中旬に表彰状を送付予定。
- 3) RFL(リレーフォーライフ)について
今年度は各団体の動画のみでの参加になっています。
群馬県作業療法士会も動画で参加しています。13:30から
<https://www.youtube.com/watch?v=8tHUy0DJsU0&t=815s>

【検討事項】なし

13. 福祉用具委員会【報告者:柴田】

【報告事項】

- 1) 福祉用具相談支援システムについて
10/24福祉用具相談支援システム運用事業に群馬県作業療法士会が参加申請し、受理された。アドバイザーとして、柴田副会長、村井理事、石森理事の3名を登録した。今後群馬県作業療法士会会員へのアナウンスとして、令和4年1月発行のニュース郵送に合わせて、ニュースへの掲載(資料1)、1施設に1枚クリアファイルの配布(資料2)、1会員に1枚三つ折りチラシの配布(資料3)を行っていく。なお、三つ折りチラシ(資料3)に関しては、日本作業療法士協会福祉用具相談支援システムから印刷・郵送費は支弁される。

【審議事項】

- 1) 福祉用具委員会を設置したことに関する行政への周知について
群馬県作業療法士会に福祉用具委員会が設置されたことの行政への周知に関して、鑑文(資料4)とチラシ(資料5)を作成した。これとクリアファイル(資料2)を合わせて10セットずつを、会長、副会長、理事の方々にそれぞれ事務局を通して郵送させていただき、行政や関連職種団体との要件に合わせて配布していただくことは可能か。
→ 地域局にて挨拶を兼ねて配る方が良い。ブロック支部で分担し計画を立てて行う方向でお願いしたい。県関係は事務局からの郵送の方が良いと思う。
- 2) HPへの掲載について
福祉用具相談支援システムのバナーを群馬県作業療法士会HPに掲載していただいて良いか。 → 承認

14. 事務局【報告者:長谷川】

【報告事項】

- 1) 研修会 決済システムの導入について
現在までの進捗状況としてはアカウントの取得を行い、フォームの作成を実施。1月からの研修会での運用に向けて準備する。募集は11月後半から開始予定
- 2) お知らせ
地域作業療法推進部等の他部門でPeatixを利用することも可能。その場合は、管理者登録が必要となるため、担当になる方の氏名とメールアドレスを連絡いただければ、登録をいたします。

【審議事項】

- 1) 電子マネー/アプリを使用した個人間での送金の可否について
部門の会計係と部員の間で送金できる条件が整っている場合は、それを認めることは是非について意見を求めたい
例)部員のメンバーがすべてPayPayを利用して、そこで収受が可能な場合、基本的に現金の収受と変わらないのでそれを認めるかどうか。

→ 個人から個人への送金が法人としての会計上問題がないのか会計士へ確認する。

2) 法人→個人の送金システムの導入は進めていくか？

or従来通り、個人の口座に振り込む形が良いか？

送金システムとしてコスト面で優位なのかLINE Pay ではあるが現金化手数料がかかることが問題。

導入可否や利用サービスについては財務部の担当理事、部員さんにもご検討いただきたい案件と思われます。

【審議事項】報告者 高橋

1) 事務局員 齋藤様について12/12で3か月となり使用期間が終了となる。

遅刻・早退等無く勤務されており、9:30～13:30の4時間業務だが、ニュース等の郵便物など業務が忙しい場合は14:30まで1時間の残業もしていたにている。このまま継続勤務していただく方向でよいのか。

→ 継続で承認

2) 上毛新聞社から来年の正月の広告依頼があった。申し込みする方向でよいのか？

名刺サイズ¥44,000 私的年賀状¥66,000

昨年PT名刺サイズ ST私的年賀状サイズ

3) 群銀法人カードの申し込みをしてよいのか？

クラシックカード年会費¥1,375(1名) 財務通帳口座で契約

VISA 1名追加ごとに¥440 JCB 1名追加ごとに¥1,375

→ 承認

4) 代金回収サービスについて

現在、県士会費の引き落としについてフロッピーディスクでのデータ持ち込みをしていたが、2023.3月末～終了となる。代替サービスとしてビジネスネットバンキングでのデータ送信へ移行していく方向でよいのか？

ビジネスネットバンキングの基本料金¥1,650/月 年¥19,800

※振替手数料 ¥165/件

データ送信追加での基本料金¥5,500/月 年¥66,000

※振替手数料 ¥165/件

→ 承認。移行時期は2022. 4月の引き落とし終了後移行していく予定



リハノメ PT・OT・STのための
総合オンラインセミナー

「リハノメ」はPT・OT・STのための、どこでも学べる
オンラインセミナーサービスです。臨床に悩むPT・OT・STのために、
各分野の専門家が臨床経験や研究成果に基づいた知識・技術をお届けいたします。

1ヶ月見放題プラン
通常料金 3,080円が初回限定で…

980円 (税込)

お申込は
こちら

QRコード

佐藤 彰紘 先生
作業療法士 / 目白大学保健医療学部
作業療法学科 准教授
配信動画 作業から考える食事支援の
ありかた など

豪華講師陣が
ご登壇！

山本 伸一 先生
作業療法士 / 山梨リハビリテーション病院
リハビリテーション部 副部長 兼
作業療法課長
配信動画 脳卒中に対する臨床作業療法

さらに
**法人様
向けプラン**
のご用意もしております。
資料請求などリハノメ HP
からお問い合わせください。

リハビリテーションを
『かたち』にする会社 **gene**
〒461-0004 愛知県名古屋市中区美1丁目26-12 IKKO新栄ビル 6階

お問い合わせは
こちらまで
お願いいたします

✉ seminar@gene-llc.jp
Tel.052-325-6611 **リハノメ** 検索

QRコード

地域包括ケア推進に関わる 県内市町村向けアンケートの結果について

1. アンケートの概要

目的：県内各市町村における一般介護予防事業への作業療法士の参画状況及び作業療法士の地域包括ケア参画に向けた課題の把握のため。

対象：群馬県内35市町村

実施期間：令和3年11月17日～12月5日

実施方法：無記名式のアンケート調査を行った。郵送にて各市町村担当者に依頼し、Webまたは紙面で回答を得た。質問項目は、所属地域、一般介護予防事業への作業療法士の参画状況、作業療法士の活用に向けた課題、通所サービスC・訪問サービスC・自立支援型地域包括ケア個別会議において作業療法士に求めること、自立支援型地域包括ケア個別会議で役立った・不適切だった作業療法士の助言内容等であった。

2. 結果

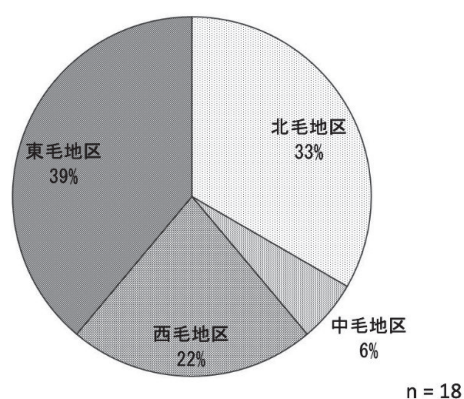
18市町村から回答を得られた（回答率51.4%）。回答結果の一部を示す。

市町村の所属地域では、東毛地区が最も多く39%であった。一般介護予防事業への作業療法士の参画状況については、自立支援型地域包括ケア個別会議が最も多く、10市町村で参画していた。作業療法士の活用に向けた課題では、実施主体や担い手が見つからないこと、依頼先が分からない、OTにできることが分からないといった回答が多かった。

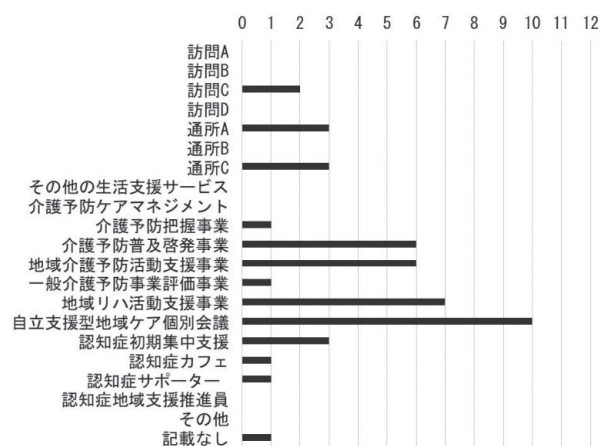
市町村が作業療法士に求めることとして、通所Cでは、運動トレーニングメニューの提供・動作指導や自主練習メニューの助言指導が12件で最も多く、訪問Cでは、動作指導や自主練習メニューの助言指導・生活環境調整に関する助言指導が10件で最も多かった。また、自立支援型地域包括ケア個別会議で求めることとして、生活環境調整に関する助言指導が14件で最も多かった。

自立支援型地域包括ケア個別会議での助言内容では、生活機能のアセスメント・指導・援助方法から環境調整方法まで、幅広く役立つ助言がなされていることが窺えた。

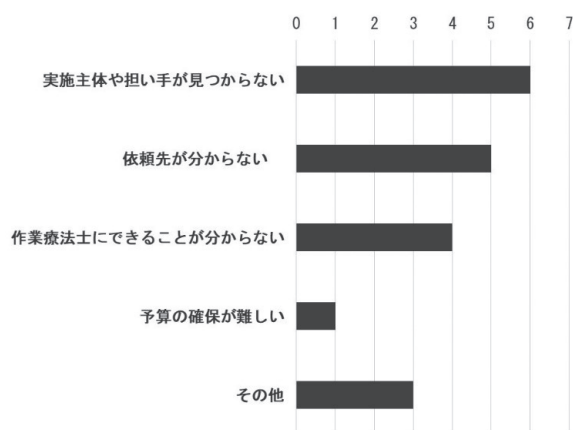
〈図1〉 回答市町村の所属地域



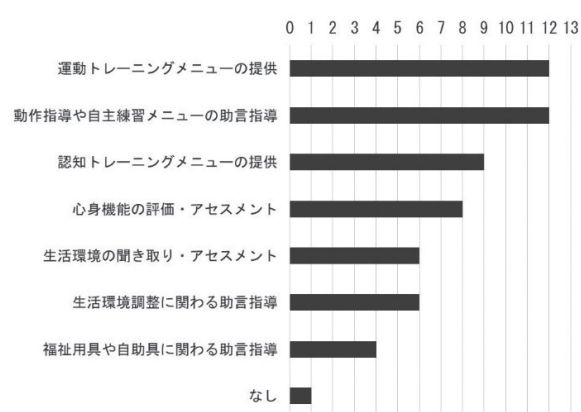
〈図2〉 作業療法士の関与状況



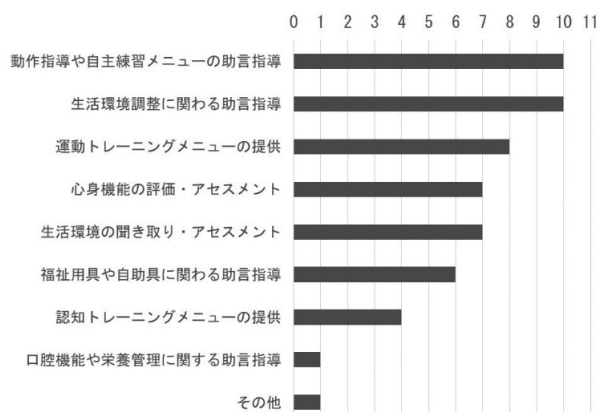
〈図3〉作業療法士の活用に向けた課題



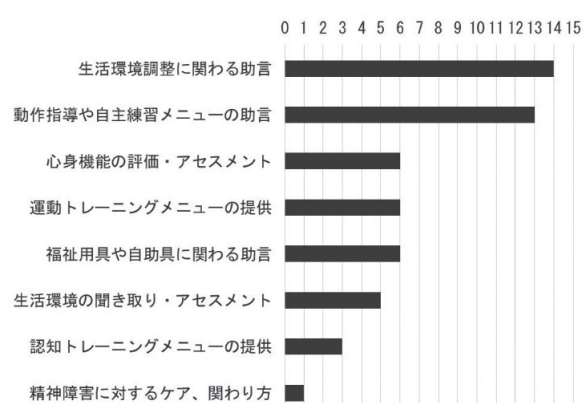
〈図4〉通所CでOTに求めること



〈図5〉訪問CでOTに求めること



〈図6〉地域ケア個別会議でOTに求めること



〈表1〉地域ケア個別会議における助言内容

〈役立つ助言内容〉

◎身体面・生活面のアドバイス、本人の精神面や興味関心の部分のアセスメントの重要性。

◎テーブルに寄りかかったりしながら作業をする等の作業姿勢の工夫について。

◎事例の人物の状態にあったウォーキングの目標歩数の提示、運動が続かない人に対し、生活の一部にどの様に運動をとりいれるか。

◎痛みが起因となりフレイルや認知症に至る危険性を示唆した上で、痛み予防、福祉用具利用、医療機関受診のタイミング等助言頂いた。毎回、丁寧な準備をして下さり感謝しています。 等

〈不適切だった助言内容〉

◎介護保険で提供できるサービスの限界を超えたアドバイスであり対応が難しかった。

3.まとめ

数年前の調査と比較すると、地域へ作業療法士が参画する機会が増え、市町村との関係性も深まっている。また、今後は、市町村との連携窓口を明確化し、一般介護予防事業において作業療法士が役立てることを更に周知していくこと、通所Cや訪問Cの参画を増やしていくことが重要と思われた。

群馬県作業療法士会HPにも掲載されていますのでご活用いただければと思います。

福祉用具相談支援システムを活用しませんか？

福祉用具相談支援システムとは？

（社）日本作業療法士協会（OT協会）が開発・構築した、
福祉用具の選択・測定・適合に関する相談支援と情報提供を可能にする
OT協会会員向けWebシステムです。

相談者（OT協会会員）

相談も難しい、困っても
会費と休費が傾くし、移
居も大変…。どうにか
して車椅子にのってご飯
を食べてみたいVUE!!

そうだ！
相談してみよう！

福祉用具相談支援システム

無料!!

アドバイザー（福祉用具相談支援システム）

骨盤位置の評価をしてアンカースポットを提示していただき、座面シート
もとの高さが必要ならお知らせね。車椅子はネットワークで選
定、選別機能も搭載したアルトリッキングタイプを検討してください。
移居には骨盤から腰部を支えられるリフトがよいですよ。

車椅子でご飯が食べられた！
バンザイ！

アドバイザーを元に
創意工夫してやってみよう！

福祉用具相談支援システムのよくある疑問

「投稿Q&A」

Q ログイン！ロとパスワードがわかりません。

A 利用登録がまだの方であれば、まずは利用登録
をしてください。利用登録済みの方はログインID
は、日本OT協会会員番号です。パスワードは、シ
ステムに登録したメールアドレスです。

**Q 其名のやり取りが不便です。システムを
利用するすべての人に公開されますか？**

A あなたの希望は相談アドバイザーと事務局のしか
のまのみにて安心ください。ほかの投稿者はタイ
トルの欄で表示することができます。あなたの名
はAさんVと事務局のみに表示されますので安心で
ください。また、返信内容（回答等含む）は相談アド
バイザーのみ閲覧可能です。

**Q 福祉用具相談支援システムは、全国誰でも
使用できますか？**

A 所属する作業療法士会が、システム運用を行って
いる場合に利用することができますが、県土会事務局にお問
い合わせください。

福祉用具相談支援システム

各自治体に貸しだし、無料でご利用いただけます。

ID (OT協会会員番号)

PW (登録メールアドレス)

福祉用具相談支援システム

検索

<http://www.jaot.info/>

三つ折りパンフレット

医療法人石井会 石井病院

当院は、1989年伊勢崎市波志江町に開設された二次救急指定病院で、一般急性期病床126床、地域包括ケア病床19床、回復期リハビリテーション病棟43床で構成されています。「社会に貢献し、信頼される医療を提供する」という理念のもと、整形外科、内科、外科、皮膚科、形成外科、眼科の患者様の診療を行っております。また、石井病院の他に石井皮フ科分院（伊勢崎市）、渋川伊香保分院（渋川市）、敷島の森おなかのクリニック（前橋市）を運営しております。2017年には関連法人として、社会福祉法人一葉特別養護老人ホームGreen Rose（伊勢崎市）を開設しました。



当院のリハビリ課は作業療法士6名、理学療法士34名、リハビリ助手1名が在籍しており、運動器リハビリテーション料I、脳血管疾患リハビリテーション料I、がん患者リハビリテーション料、呼吸器リハビリテーション料I、訪問リハビリテーション料（介護保険）などを算定しております。

対象は骨折や脊椎の変性疾患、膝および股関節の人工関節置換術後などの運動器疾患が主で急性期から回復期、生活期まで一貫したリハビリの提供を目指しており、診療に関しては1患者1療法士の個別担当制ではなく、複数のスタッフで患者様を担当するチーム担当制を採用しております。チーム担当制の運営には、リハビリ提供の水準を一定にすることと、教育の要素を持ち合わせています。チームには教育を行う（Trainer）、独立して業務ができる（Sub Trainer）、教育を受ける（Trainee）という役割で、理学療法士、作業療法士をわけることなく配置し、スタッフの経験と能力に応じて業務を分担し、チーム単位で教育を行っております。

スタッフ数は40名を超え、職員構成も20代前半の若手から子育て世代と幅広く、働き方も多様性が求められるようになりましたが、なかでも個々が、「仕事のやりがいやこだわりを大切に成果は表現する」という意識・方針で組織がまとまれるよう努めております。

昨今では、患者満足度を向上するために「無形サービスである医療をどのように表現していくのか」、「リハビリテーションの質をいかに言語化し、数値化していくか」ということに課としてこだわり、組織内で課題や目標を共有できるよう取り組みを強化しております。

今後もより質の高いリハビリテーションを提供できるよう、スタッフ一丸となって努力していきたいと思います。



研修会参加料金徴収システムの導入(仮)についてのお知らせ

群馬県作業療法士会では県士会主催の研修会にて参加費料金徴収システムの導入にむけて準備を進めております。昨年よりオンラインでの研修会開催が増えてきたことに伴い、参加費の収受について参加者の利便性を高めるべく、料金徴収システムの導入を検討することとなりました。

本会の教育部及び理事会にてシステム運用に関わる審議を経て、2021年1月からのシステム導入(試運用期間含む)を決定いたしました。利用する徴収システムはPeatixを予定しております。Peatixは他県士会や他団体での利用実績のあるイベントプラットフォームです。このシステム導入によって、研修参加費を振り込むなどの面倒な手続きがなくなり、オンライン上での決済が可能となります。

群馬県作業療法士会はより利便性の高い県士会事業の運営に努めて参ります。会員の皆様のご支援賜りたくお願い申し上げます。

【研修会参加される皆様にお知らせ】

- ① 研修会参加のお申し込みの際に、**peatix**のアカウント登録が必要となります。
登録には、メールアドレスが必要です。登録費用などはかかりません。
- ② **参加費の支払いは、クレジットカード、Paypal、コンビニ決済を利用いただけます。**
コンビニ決済の場合別途、手数料(¥220)がかかります。
- ③ Peatixの登録方法、お支払い方法、申し込み方法の詳細は、
Peatixホームページからご確認ください。
- ④ 研修会の案内については、今まで同様に県士会の研修会ページをご覧ください。
お申し込み画面になりますと、Peatixでの参加登録となります。

【本件のお問い合わせ】

ご質問、ご意見などありましたら、群馬県作業療法士会、お問い合わせフォームよりご連絡ください。
皆様からのご意見をお待ちしております。



Peatixホームページ

2021年12月1日 群馬県作業療法士会 事務局、教育部

投稿大募集!!

ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や日常業務で工夫している点、こんな研修会に参加した…などなど、皆様からの投稿を募集しております。

どんなことでも構いませんので、お気軽にお寄せ下さい。お待ちしております!!

アドレス: dc_nanohana@yahoo.co.jp
広報部・ニュース編集グループ
反町拓海

編集後記

新年あけましておめでとうございます。年始ではありますが、今号にて2021年度のニュースは最終となります。今年度もたくさんの先生方にご協力を頂き、ありがとうございました。特に高橋先生のご尽力で他機関の先生に記事を執筆頂けたことは編集部としてだけでなく、会員の皆さまにも貴重な経験だったと思います。改めてありがとうございました。

次年度もよろしくお願い致します。

S

県士会ホームページアドレス

<http://www.gunma-ot.org/>

群馬県作業療法士会ニュース

発行者 || 新井 健五

発行所 || 群馬県作業療法士会事務局 〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号 TEL・FAX 027-224-4649

編集代表 || 反町 拓海 編集委員 || 関 仁紀、下田 幸、辻 千鶴子、大脇 宗雅 印刷 || 星野印刷株式会社